

Information

グループホームの入居者募集中！

現在、アパートタイプの「ハーモニーやまなみ1号」と女性専用のグループホーム「ハーモニーやまなみ3号」に空室があります。見学、体験就入居等のご相談を随時受け付けていますのでお気軽に下記までご連絡下さい。

TEL 0279-54-2947 (松岡・小林・安田まで)

就労継続支援 B 型事業所の利用者募集中！

山脈の運営する3つの就労継続支援 B 型事業所「みやま工房」「キッチンハウスみやま」「麦のゆめ」では、一緒に働く仲間を募集しています。

就労継続支援 B 型事業所は、「就職に向けて働く習慣を身に付けたい。」「就職はまだ自信がないけど働いてみたい」「昼間、活動する場所が欲しい」「友達や仲間が欲しい」と言った方にご利用頂けます。

見学、体験就労、ご相談等、随時対応しておりますのでお気軽に下記までご連絡下さい。

みやま工房 TEL 0279-54-2947 (小野・佐藤)

キッチンハウスみやま TEL 0279-20-5817 (船津・大井)

麦のゆめ TEL 0279-25-8866 (芦川・藤本)

令和5年度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 賢一

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2 (みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2023.11

No.244

冬の主力作物、長ネギの収穫と出荷が始まりました！

今年の猛暑は9月後半まで続き、とても暑く長い夏でした。10月に入りようやく農作業がしやすい季節になりました。みやま工房では長ネギの出荷が始まり、連日、利用者さん達が業務に追われています。これから冬になるとお鍋の季節になり長ネギの需要が増えます。そして、みやま工房も長ネギの出荷の最盛期を迎えます。

みやま工房の長ネギはファームドゥに出荷され、群馬はもとより東京や埼玉などの首都圏にも出荷されます。



今年も乾燥芋の試作が始まりました！

みやま工房では乾燥芋の試作が始まりました。初めて取り組んだ昨年は、作り方や保存方法などまだまだ課題がありました。今年は去年の経験を踏まえ、早めに試作を始めました。今年もみやま工房の畑で収穫したさつまいもを使って作ります。販売準備が整いましたら、皆様にご案内しますのでご注文、宜しくお願い致します。



秋はイベントの季節！イベントに参加した利用者さんの声をお聞き下さい！

●10月8日（日） よしおかふるさとまつり

- ・長ネギの販売は楽しかったけど、お客さんに声をかけるのは緊張した。(みやま工房 利用者 清水さん)
- ・楽しかった。長ネギがたくさん売れて楽しかった。(みやま工房 利用者 生須さん)
- ・楽しかった。たくさんの方が買いに来てくれて嬉しかったです。(みやま工房 利用者 丸山さん)
- ・楽しかった。長ネギの販売ができて嬉しかったです。(みやま工房 利用者 山口さん)
- ・子供連れが多く、キャラクターパンがたくさん売れて楽しかった。(麦のゆめ 利用者 金井さん)



●10月14日（土） くわのみまつり（社会福祉法人桑の実福祉会）

- ・障がいの有無、年齢、国籍を問わず、また地域の方々が一緒になって楽しんでいるところがとても良かった。
(キッチンハウスみやま 職員 船津さん)
- ・天気も良く空気が綺麗でみんながのびのびと楽しんでいた。抽選会や出し物、キッチンカー、販売と色々あって盛り上がりました。(キッチンハウスみやま 職員 田代さん)
- ・ゲームや抽選会が楽しかった。かき氷、綿菓子、ポップコーン、焼きそば、美味しかった。また、行きたいと思いました。(キッチンハウスみやま 利用者 都丸さん)
- ・とても楽しくて全部よかった。キッチンカーはかっこよくて、コーヒーが美味しかった。ミニカレーはとても美味しかったです。(キッチンハウスみやま 利用者 大塚さん)
- ・お弁当販売をしました。色んな人に会えて嬉しいです。(キッチンハウスみやま 利用者 伊藤さん)
- ・天気が良くて外の売店で色々あって大変良かったです。抽選会でキッチンとして誰も当たらないのが残念です。来年もまた開催して欲しいです。(キッチンハウスみやま 利用者 小林さん)
- ・くわのみまつりで企画してくれたゲームが楽しかったです。(みやま工房 利用者 安澤さん)
- ・企画のゲームや買い物も楽しかったです(みやま工房 利用者 荻田さん)
- ・楽しんで過ごせました。(みやま工房 利用者 桑原さん)
- ・販売で緊張してしまい、「いらっしやいませ」がなかなか言えなかったがとても楽しかった。また参加したい。
(みやま工房 利用者 清水さん)
- ・企画のゲームができて楽しかった。買い物もできて嬉しかったです。(みやま工房 利用者 鷹野さん)
- ・長ネギが売れて良かった。色んな方と関わって楽しかった。(みやま工房 利用者 丸山さん)
- ・楽しく過ごせました。(みやま工房 利用者 八木原さん)
- ・販売楽しかったです。パンが売れて良かったです。(麦のゆめ 利用者 所さん)
- ・色々な人と触れ合えて良かったです。(麦のゆめ 利用者 高橋さん)



【寄稿コーナー】

松川事件無罪確定60周年記念全国集会に参加して（その1）

特定非営利活動法人山脈 前理事長 笹澤繁男

この度、9月30日～10月1日、福島県で開催された松川事件に関する全国集会に初めて参加させて頂き、そこで感じたことを11月号、12月号の2回に分けて寄稿し、皆様にお伝えします

今回の集会の目的は第1に、集会のタイトル「歴史に学び、今に生かす」とあるように松川事件、松川裁判、松川運動を今一度、学び直し、歴史的な大衆運動・大衆闘争の貴重な成果を風化させることなく継承し、二度と再び権力による謀略事件、冤罪事件を許さないこと、第2にその教訓から松川事件以降、今日までにも数々の冤罪事件が発生しており、それと闘っている罪なき方々を救援し、大切な人権と生命を守る運動を大きく発展させること、第3に冤罪事件を短期に解決・勝利させるためにも今の再審法を改正し、特に再審請求審における検察の持っている証拠資料の開示、再審決定に対する検察官の不服申し立て（抗告）の禁止を法文化させる運動を急速に広げることでした。

そこで私は松川事件に関して「自分はどうだったのか」を改めて思い返してみました。

松川事件が発生したのは私が小学6年生の時でした。下山事件、三鷹事件に相次ぐ国鉄の3大事件のひとつとして写真入りでデカデカと報道された新聞を読んだ記憶は残っております。しかし、小学6年生の私にとってはその真相を知る由もなく、その政治的背景もわかりませんでした。その後、56年に高校を卒業し、就職したのが高崎の古河鉱業株式会社足尾製作所高崎工場という古河鉱業の中でも削岩機や鉱山土木機械の製造販売をする機械部門でした。労働組合は総評全国金属の支部で組合活動がとても盛んで、各種集会や学習会に参加したり、様々な闘いのオルグの方がきて、闘いの報告や訴えを聞きました。

また、私自身、61年の秋に党地区専従のために離職するまでの数年、青年婦人部長を務めましたので、自社での闘いはもちろん、連帯や共闘についてもリーダー的立場であるべき存在でした。

1組合員のときも含め、様々な闘いの中の重要な闘いのひとつとして松川運動に参加させて頂いたように思います。思い起こしますと、入職後の6年弱の間でいくつもの大きな闘いに参加する機会を得ることになりました。1958年の「オイコラ警察反対」という警職法改悪反対闘争、同じく「西の高知、東の群馬」と言われた教職員に対する勤務評定反対闘争、1959年から60年の三井三池炭鉱首切り反対闘争、60年安保闘争、55年から20年間も続いたベトナム戦争などなどです。

そして、松川事件は1963年9月23日、全員無罪という勝利判決を勝ち取りました。

集会に参加して、この勝因としての教訓を学ぶことが出来ました。元原告者の方々の権力に対する14年にも及ぶ不屈の闘い、権力のでっちあげに対する怒りも込めた支援者への自分達の正当性の強い発信、固い家族との絆、弁護団の無罪を確信しての粘り強い努力、諏訪メモの開示、広津和郎先生など幅広い支援者の結集、何よりも法廷闘争に終わらせず、全国的な大衆運動、大衆闘争の組織化などです。

私はその後、青年運動や民商の活動、障がい者の支援活動に取り組んできましたが、この集会に参加して自分の中にも「松川事件が全員無罪になった。良かった」という当時の安堵感のまま風化しつつあったのではないかと気づかされました。

昨年10月、松川事件の元被告者最後の生存者の阿部市次がお亡くなりになった今、これを如何に継承し発展させるかが大きな課題だと思います。しかし、この集会に参加して、私も含めてその多くの方が高齢者・年輩者であり、会場に若者が少なかったことがとても気になりました。
(続きは山脈ニュース12月号に掲載予定)

松川事件とは

松川事件は1949年（昭和24年）8月17日、福島県の日本国有鉄道（国鉄）の東北本線松川駅付近で列車が転覆し、機関車乗務員3人が死亡した事件。人為的な鉄道線路破壊がその原因であった。この列車転覆事故を巡り、国鉄10名、東芝松川工場10名の労働組合員が逮捕され、その後、罪に問われた20人の被告全員が無罪となり、戦後最大級の冤罪事件と呼ばれている。

今もなお、冤罪として再審を求める事件が後を絶たない中、どうすれば冤罪はなくせるのかを、松川事件の無罪確定から60年にあたる今年、福島県で無罪確定60周年記念の全国集会を開かれ、松川事件の教訓を探った。